

「衣食足りて」
シリーズ～終末を生きる～
2018/5/6・召天者記念礼拝

ヨハネの黙示録3章14～22節

ラオディキアにある教会の天使にこう書き送れ。『アーメンである方、誠実で真実な証人、神に創造された万物の源である方が、次のように言われる。「わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、どちらかであってほしい。熱くも冷たくもなく、なまぬるので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている。あなたは、『わたしは金持ちだ。満ち足りている。何一つ必要な物はない』と言っているが、自分が惨めな者、哀れな者、貧しい者、目の見えない者、裸の者であることが分かっていない。

そこで、あなたに勧める。裕福になるように、火で精錬された金をわたしから買うがよい。裸の恥をさらさないように、身に着ける白い衣をかい、また、見えるようになるために、目に塗る薬を買うがよい。わたしは愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ。見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入つてその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。勝利を得る者を、わたしは自分の座に共に座らせよう。わたしが勝利を得て、わたしの父と共にその玉座に着いたのと同じように。耳ある者は、“靈”が諸教会に告げることを聞くがよい。」』

ラオディキアの教会

- エフェソの東約150kmの商業都市
 - 紀元前3世紀頃からセレウコス朝の主要都市として整備された町
 - 金融都市としても知られ、裕福であった
- 名産品
 - 黒羊毛と毛織物・目薬
- コロサイ教会との関わり
 - パウロの弟子エパプラスが基礎を築いた
 - 「この手紙があなたがたのところで読まれたら、ラオディキアの教会でも読まれるように、取り計らってください。」コロサイ4:16



“なまぬる文明”国・日本

わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、どちらかであってほしい。熱くも冷たくもなく、なまぬるいので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている。

“苦しみとつらさのない文明は、人類の理想のように見える。しかし、苦しみを遠ざける仕組みが張り巡らされ、快に満ちあふれた社会の中で、人々はかえってよろこびを見失い、生きる意味を忘却してしまうのではないか。”

(「無痛文明論」森岡正博)

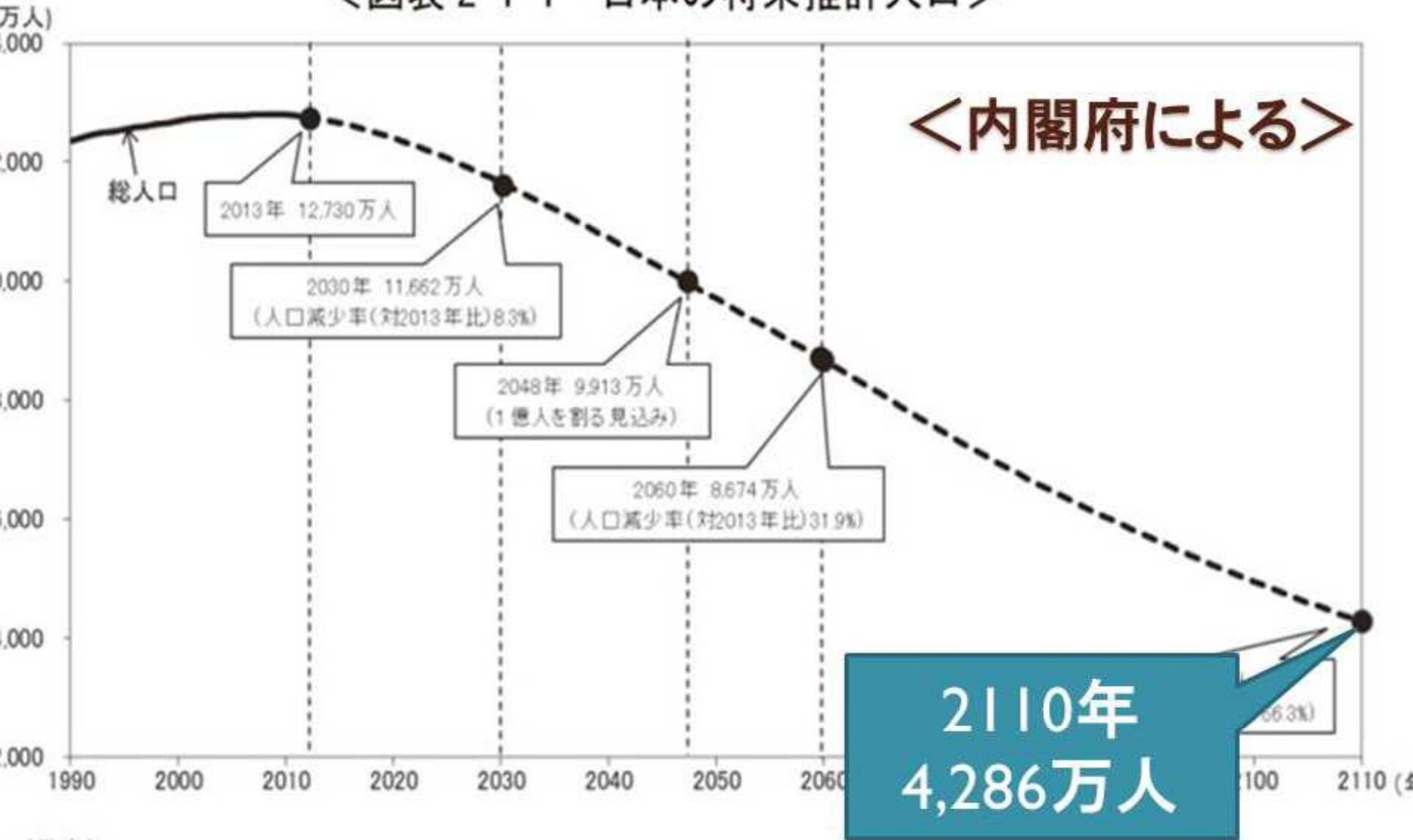
“なまぬる文明”の象徴

- 手ごろな快を求める
 - テレビ・スマホ・グルメ……
- いたずらに長生きだけを求める
 - 「健康」というアイドル(偶像)
- リスク(危険)を回避する
 - できるだけ安全な道を選ぶ
- 重要な問題を先送りにする
 - 世界一の借金を抱えながら何もしない
- 死に向き合おうとしない
 - 墓の準備はするけれど…

“なまねる文明”の結実

- 少子化
 - 「高齢化」は問題ではない!
 - 子育てしたくない国
- 相互監視・相互クレーム
 - 未来に向かない目は互いに向く
- ひきこもり問題
 - 彼らは“なまねる文明”的被害者
- 依然と高い自殺率
 - 自殺者3.2→2.2万 变死体1.2→2.2万
- 日本消滅!
 - 冷めてゆく風呂から出られない

<図表 2-1-1 日本の将来推計人口>



(備考)

1. 1990年から2013年までの実績は、総務省「国勢調査報告」「人口推計年報」、厚生労働省「人口動態統計」をもとに作成。
2. 社人研中位推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」をもとに作成。合計特殊出生率は、2014年まで概ね1.39で推移し、その後、2024年までに1.33に低下し、その後概ね1.35で推移。

なぜそうなったか？

『わたしは金持ちだ。満ち足りている。何一つ必要な物はない』と言っているが、自分が惨めな者、哀れな者、貧しい者、目の見えない者、裸の者であることが分かっていない。

- 物質的な豊かさが靈的な貧しさを生んだ
 - 生きてゆくための物を手に入れた瞬間に、何のために生きてゆくのか分からなくなってしまった！
- 立派な家に住み美しく着飾ってはいるが
 - 人格は貧しく、正しく見極める力を失い、見られたくない内面を隠している
- 「衣食足りて礼節を知る」

本当の豊かさを手に入れるには

そこで、あなたに勧める。裕福になるように、火で精錬された金をわたししから買うがよい。裸の恥をさらさないように、身に着ける白い衣を買い、また、見えるようになるために、目に塗る薬を買うがよい。

- **金**

- 「何でもアリ」ではない純粋な信仰心
- 内村鑑三の「2つのJ」(Jesus・Japan)

- **白い衣**

- キリストによって与えられる義の衣

- **目薬**

- 真理を見極めるための洞察(聖書)

“なまぬる文明”からの脱却

わたしは愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ。見よ、わたしは戸口に立つて、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入つてその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。

- 「変える」勇気を持とう!
 - “変化を恐れない。未知とは、変化する可能性のこと。変化していく自分を待望してほしい”（「生きていくあなたへ」日野原重明）
- 心の扉は内側からしか開かない!
 - キリストはあなたの心の扉をノックし続けておられます